

### 3. 政治専攻

政治専攻には、理論と歴史コース・分析と応用コースの2コースがあり、コースによって専門教育科目の履修について違いがある。

学生は、いずれかのコースを選択し、履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

#### 【各コースについて】

##### 理論と歴史コース

政治のことをもっとよく知りたいという人や、あまり知識はないが政治を理解することは大切だと思うという人に、現代の日本の政治や世界の政治をより深く、正確に理解してもらうためのコースである。このコースでは、現代を理解するための基礎となる歴史的な知識から出発して、より普遍的な理論的思考法を身につけてもらうことで、現在の政治的な諸問題についての理解と洞察を得ることを目的とする。また、単に知識を身につけるだけでなく、討論に積極的に参加する能力も養ってもらう。デモクラシーが十分に機能するためには、優れた政治家がいるだけではなく、優れた政治家を支える（あるいは叱咤する）「優れた市民」が不可欠である。そのような市民を養成することが、このコースの目的である。

##### 分析と応用コース

政治に対して強い関心があって、将来政治に関係する仕事につきたいと考えている人向けのコースである。政治家秘書を目指している人、将来的に地方議会の議員や国会議員を目指している人、ジャーナリストやNPO職員のような形で政治と直接かかわりを持ちたい人などを想定してカリキュラムを準備している。このコースでは、政治的な諸問題を解決するために必要な創造性を、歴史的な知識と討論の中で養っていく。それと同時に、政治活動の現場を、インターンシップやフィールドワークの形で実際に体験してもらう。この両方の力を身につけることで、政治の現場で実際に活躍することのできる柔軟で強靱な知性の修得を目指す。

#### 【カリキュラムの構成と履修方法】

政治専攻における専門教育科目の構成とその履修方法は、次のとおりである。

カテゴリ	コース		
	理論と歴史	分析と応用	
シチズンシップ科目			
キャリア科目			
入門科目			
基礎科目	10 単位以上	10 単位以上	
演習科目	8 単位以上	8 単位以上	
展開科目	政治史	4 単位以上	
	現状分析		4 単位以上
	理論・思想	4 単位以上	
	主題別	8 単位以上	8 単位以上
	オムニバス	4 単位以上	4 単位以上
	実習		4 単位以上
専攻関連科目	外書講読		
	法律系		
	経済系		
一般関連科目			
計	64 単位以上		

※1 卒業するためには、専門教育科目から 64 単位以上を修得しなければならない。

※2 コースの選択は、1年次の履修登録時から行う。2年次前期の履修登録時に登録したコースが最終決定となり、その後の変更は原則として認められない。ただし、3年次または4年次において、やむを得ない事由がある場合に限り、特例として検討することがある。

※3 政治専攻の専門教育科目は、コースごとに修得しなければならない科目数・単位数がそれぞれ異なっているので、注意すること。詳細は、P86～88 のカリキュラム表を参照のこと。

- ※4 シチズンシップ科目の「法と社会参加」、「政治と社会参加」及び「行政と市民生活」、展開科目の現状分析の「政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ」、展開科目の主題別の「地域研究」及び「地域研究演習」、展開科目のオムニバスの「オムニバス・セミナー」、展開科目の実習の「フィールドワーク」、並びに、専攻関連科目の法律系の「法律学特殊講義Ⅰ・Ⅱ」については、科目名にカッコ書きで示される題目・テーマが異なる場合には複数履修することができる。
- ※5 キャリア科目の「キャリア・プランニング」は、必修科目ではないが、1年次に必ず履修登録しなくてはならない科目である（ただし、留学生及び社会人については、この限りでない）。また、「キャリア・プランニング」については、原則として2年次以降に履修することはできない。
- ※6 入門科目の「国際政治入門」、「政治哲学入門」及び「比較政治入門」、展開科目の主題別の「地域研究入門」、並びに一般関連科目の「比較法入門」、「犯罪学入門」及び「法史学入門」については、3年次以降に履修することはできない。
- ※7 演習科目の「演習Ⅰ」及び「演習Ⅱ」は、いずれも同一年次に複数履修することができる。ただし、16単位を超えて履修することはできない。また、「演習Ⅰ」及び「演習Ⅱ」はそれぞれ少なくとも4単位は修得しなければならない。なお、「演習Ⅰ」については、原則として、3年次以降での履修は認められないが、「演習Ⅰ」を修得していないときに限り、4単位のみ履修することができる。
- ※8 展開科目の実習の「政治インターンシップ(長期)」、「政治インターンシップ(短期)」、「フィールドワーク」及び「スタディ・ペーパー」については、受講にあたり所定の手続きが必要となる。詳細は、別途公表される要項を参照のこと。
- ※9 展開科目の実習の「スタディ・ペーパー」については、3年次以降に履修した「演習Ⅱ」の担当教員と同一の教員の指導を受けることが望ましい。
- ※10 展開科目の実習の「政治インターンシップ(長期)」及び「政治インターンシップ(短期)」については、年次別履修単位制限のうちに含まれない。
- ※11 教職課程・資格課程を履修する場合には、教職課程・資格課程の科目がその年度の時間割編成上、所定の開講学年では履修できないこと(卒業と同時に取得できない場合)もあるので、注意すること。

法学部共通・シチズンシップ科目

カテゴリ	授業科目	開講	単位	開講学年				コース		備考
				1	2	3	4	理論と歴史	分析と応用	
シチズンシップ科目	法学（日本国憲法）	半期	2	○						
	法と社会参加	半期	2	○						題目・テーマが異なれば8単位まで複数履修可
	政治と社会参加	半期	2	○						題目・テーマが異なれば8単位まで複数履修可
	行政と市民生活	半期	2	○						題目・テーマが異なれば8単位まで複数履修可
	法教育入門	半期	2	○						

政治専攻

カテゴリ	授業科目	開講	単位	開講学年				コース		備考		
				1	2	3	4	理論と歴史	分析と応用			
キャリア科目	キャリア・プランニング	半期	2	○						1年次での履修登録必須。2年次以降での履修は不可		
入門科目	国際政治入門	半期	2	○						3・4年次以降での履修は不可		
	政治哲学入門	半期	2	○								
	比較政治入門	半期	2	○								
	政治学概論	半期	2	○								
基礎科目	基礎演習A	半期	2	○				10単位	10単位			
	基礎演習B	半期	2	○								
	現代社会論	半期	2	○								
	現代の政治	半期	2	○								
	政治学	半期	2		○							
演習科目	演習Ⅰ	通年	4		○			8単位以上	8単位以上	同一年次に複数履修可。最大16単位まで履修可。「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」のそれぞれから最低4単位以上履修すること。		
	演習Ⅱ	通年	4			○						
政治史	日本政治史A	半期	2	○				4単位以上				
	日本政治史B	半期	2	○								
	日本外交史A	半期	2		○							
	日本外交史B	半期	2		○							
	西洋政治史A	半期	2	○								
	西洋政治史B	半期	2	○								
	20世紀の政治A	半期	2	○								
	20世紀の政治B	半期	2	○								
	国際関係史A	半期	2	○								
	国際関係史B	半期	2	○								
	アジア政治史A	半期	2		○							
	アジア政治史B	半期	2		○							
	展開科目	日本の政治A	半期	2		○				4単位以上		
		日本の政治B	半期	2		○						
アメリカの政治		半期	2		○							
公共政策		半期	2		○							
比較政治A		半期	2			○						
比較政治B		半期	2			○						
地方自治論A		半期	2			○						
地方自治論B		半期	2			○						
政治学特殊講義Ⅰ		半期	2			○			題目・テーマが異なれば複数履修可			
政治学特殊講義Ⅱ		半期	2			○			題目・テーマが異なれば複数履修可			
理論・思想	行政学A	半期	2		○			4単位以上				
	行政学B	半期	2		○							
	国際政治A	半期	2		○							
	国際政治B	半期	2		○							
	日本政治思想史A	半期	2		○							
	日本政治思想史B	半期	2		○							
	西洋政治思想史A	半期	2		○							
	西洋政治思想史B	半期	2		○							
	社会学A	半期	2			○						
	社会学B	半期	2			○						
政治哲学A	半期	2			○							
政治哲学B	半期	2			○							

(次ページに続く)

カテゴリ	授業科目	開講	単位	開講学年				コース		備考	
				1	2	3	4	理論と歴史	分析と応用		
展開科目	主題別	メディア論	半期	2		○			8単位以上	8単位以上	
		社会運動論	半期	2		○					
		政策過程論	半期	2				○			
		選挙論	半期	2				○			
		NPO論	半期	2				○			
		政治家論	半期	2		○					
		政党論	半期	2		○					
		福祉国家論	半期	2				○			
		政治文化論	半期	2				○			
		政治変動論	半期	2				○			
		ジェンダー論	半期	2				○			
		環境政治学	半期	2				○			
		平和研究	半期	2				○			
		地域研究入門	半期	2	○						
	地域研究	半期	2				○		題目・テーマが異なれば複数履修可		
	地域研究演習	半期	2				○		題目・テーマが異なれば4単位まで複数履修可		
	オムニバス・セミナー	半期	2				○	4単位以上	4単位以上	題目・テーマが異なれば8単位まで複数履修可	
	実習	政治インターンシップ(長期)	通年	4			○		4単位以上		
政治インターンシップ(短期)		半期	2			○					
フィールドワーク		半期	2			○				題目・テーマが異なれば複数履修可	
スタディ・ペーパー		通年	4				○				
外書講読	外書講読(政治)Ⅰ	半期	2		○						
	外書講読(政治)Ⅱ	半期	2				○				
専攻関連科目	法律系	憲法ⅠA	半期	2	○						
		憲法ⅠB	半期	2		○					
		憲法ⅡA	半期	2			○				「憲法ⅠA」が修得済みであること
		憲法ⅡB	半期	2			○				「憲法ⅠB」が修得済みであること
		行政法ⅠA	半期	2		○					
		行政法ⅠB	半期	2		○					
		行政法ⅡA	半期	2				○			「行政法ⅠA」が修得済みであること
		行政法ⅡB	半期	2				○			「行政法ⅠB」が修得済みであること
		行政組織法	半期	2				○			
		地方自治法	半期	2				○			
		国際法の基礎	半期	2		○					
		国家と国際法	半期	2		○					
		個人と国際法	半期	2				○			
		国際紛争処理法	半期	2				○			
		国際人権・人道法	半期	2				○			
		国際組織法総論	半期	2				○			
		国際組織法各論	半期	2				○			
		法制史A	半期	2				○			
		法制史B	半期	2				○			
		法社会学A	半期	2				○			
		法社会学B	半期	2				○			
		法哲学A	半期	2				○			
		法哲学B	半期	2				○			
		外書講読(法律)Ⅰ	半期	2		○					
外書講読(法律)Ⅱ	半期	2				○					
法律学特殊講義Ⅰ	半期	2				○					
法律学特殊講義Ⅱ	半期	2				○			題目・テーマが異なれば複数履修可		
経済系	経済理論入門	半期	2	○							
	マクロ経済Ⅰ	半期	2		○						
	ミクロ経済Ⅰ	半期	2		○						
	財政の基礎	半期	2		○						
	公共部門と財政	半期	2		○						
	社会保障論	半期	2				○				
国際経済	半期	2		○							

(次ページに続く)

カテゴリ	授業科目	開講	単位	開講学年				コース		備考	
				1	2	3	4	理論と歴史	分析と応用		
一般 関 連 科 目	比較法入門	半期	2	○						3・4年次での履修は不可	
	犯罪学入門	半期	2	○							
	法史学入門	半期	2	○							
	犯罪学A	半期	2		○						
	犯罪学B	半期	2		○						
	刑法総論 I	半期	2		○						
	刑法総論 II	半期	2				○				「刑法総論 I」が修得済みであること
	刑法各論 I	半期	2	○							
	刑法各論 II	半期	2		○						「刑法各論 I」が修得済みであること
	民法・親族	半期	2					○			
	民法・相続	半期	2					○			
	株式会社法 I A	半期	2				○				
	株式会社法 I B	半期	2				○				
	社会経済学	半期	2		○						
	日本史概論 I	半期	2	○							
	日本史概論 II	半期	2	○							
	東洋史概論 I	半期	2	○							
	東洋史概論 II	半期	2	○							
	西洋史概論 I	半期	2	○							
	西洋史概論 II	半期	2	○							
	哲学概論A	半期	2			○					
	哲学概論B	半期	2			○					
	倫理学A	半期	2		○						
	倫理学B	半期	2		○						
心理学A	半期	2					○				
心理学B	半期	2					○				

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。